

第四十回

白謡会・研究会番組

平成三十一年二月二日(土) 午前九時四〇分始
於・横浜能楽堂研修舞台(045・263・3050)

連吟

梅 シテ 小林 宏三

地謡・◎青山圭佑、○天野忠雄、○森 庸一、他男性

田村 シテ 大久保 勝子

地謡・◎三野仁子、○菅原秀子、○尾崎純子、他女性

素 謡

ツレ 山口 健次

白鬚 シテ 中山 眞秀 ワキ 西澤 慈幸

地謡・◎平戸仁英、○山形隆康、○森川洋子

仕 舞

難波 松島 總子

東北キリ 中尾 操

笹之段 小島 洋子

地謡・平戸仁英、関口潔、河野健三、尾崎純子、森 庸一

素 謡

子方 高井 倫子

百萬 シテ 長谷川次八 ワキ 姥澤 賢

地頭・◎三武 孝、○舍川重隆、○小島洋子

素 謡

源氏供養 シテ 糸井多倍子 ワキ 河野 健三

ワキツレ 齋藤 三紀

地謡・◎関口潔、○山形隆康、○北島大靖

仕舞

道明寺

北島大靖

三輪クセ

堤美代子

実盛クセ

龍田 啓子

女郎花

加藤 千恵子

地謡・平戸仁英、舍川重隆。青山圭佑、神崎克子、山口健次

素謡

ツレ 越後貫隆

千手

シテ 石井 静江

ワキ 菅原 秀子

地謡・◎舍川重隆、○鈴木邦子、○山口健次

連吟

杜若

シテ 天野 忠雄

地謡・北島大靖、中山真秀、森庸一、斉藤千賀子、佐川武子、齋藤三紀他

素謡

ツレ 堤 美代子

花 筐

シテ 棟居 禮子 ワキ 鈴木 紀子

前ワキツレ 中尾 操

後ワキツレ 鈴木 幸子

地頭・◎鈴木 邦子、○深田晴美、○神崎克子、他地謡女性

仕舞

巻 絹

斉藤千賀子

善知鳥

尾崎 純子

遊行柳クセ

森川 洋子

松 虫キリ

橋本 鏡子

地謡・平戸仁英、北島大靖、姥澤賢、小林宏三、長谷川次八

連吟

柏崎 シテ 尾崎 純子

地謡・加藤千恵子、三野仁子、龍田啓子、中尾 操、齋藤三紀、関口三紀他

山姥 シテ 西尾 まつ枝

地謡・橋本鏡子、松島總子、小島洋子、永野由紀子、関口節子、竹川綾子他

素謡

子方 三野 仁子

ツレ 龍田 啓子

歌占 シテ 内田 節子

地謡・◎深田晴美、○三武孝、○関口潔

(終演午後四時半頃)

附祝言

注①

素謡の省略箇所

「白鬚」|| 四丁裏の上歌とクリを省き、サシへ跳ぶ

「百萬」|| 四丁表のワキ「これは思いも寄らぬ・・より省き、クリのシテ」げにや・・へ跳ぶ

「源氏供養」|| ①ワキの道行と下歌を省く ②クリ、サシを省く(イロエからクセに跳ぶ)

「千手」|| 五丁裏のワキ「いかに千手の前・・より省き、七丁裏のワキ」今日の雨中へ・・へ跳ぶ

「花筐」|| 六丁裏のシテ「君が住む・・より省き、八丁表のツレ」あらかなしや・・へ跳ぶ

「歌占」|| 九丁裏の次第、クリ、サシを省き、クセへ跳ぶ

注②

連吟の範囲の範囲

「梅」|| サシ及びクセ

「田村」|| クセとロンギ(クセの最初の一句はシテが謡う)

「杜若」|| サシ及びクセ

「柏崎」|| 十五丁裏のシテ「されば初め・・より最後まで

「山姥」|| 十二丁裏のシテ「然れば人間の・・より最後まで

注③

昼食は各自で弁当などをご用意下さい。また、飲み物としてペットボトルなどをご持参下さい。

注④

会費は白謡会既定の役料に懇親会費等を基本会費として加算させて頂きます。各自で当日に会計幹事(小林様、越後隆様、三野様)にお支払い下さい。

注⑤

会の終了後、「一の蔵」で、簡単な新年会を催します。